

# サワラ

## 生態的特徴等

【生態】体に多くの暗色班があり、体高が低く細長で、腹鰭が小さい。頭部が小さく、口が大きく、歯が鋭い。体内には浮力を調整する鰾がない。

1歳魚で一部から半数が、2歳魚以上では大部分が成熟し、東シナ海では5~6月に、瀬戸内海では5~7月に産卵する。強い魚食性をもち、魚類の仔稚魚、成魚等を捕食する。成長は速やかで、満1歳で約40cm、2歳で60cm前後、3歳で60cmを超える(図1)。寿命は6~8歳で雌の方が長寿とされており、全長1mを超える。

【漁法と盛漁期】太平洋北部(北海道~茨城県)の盛漁期は7~12月で、定置網のほか、延縄等で漁獲される。本県の盛漁期も7~12月で、定置網のほか、曳釣りで漁獲され、久慈地区の水揚げが多い。

【利用】捨てるところがないと言われており、刺身や焼き等で食される。小型のものはサゴシ(チ)と呼ばれ、全般に脂はのっていない。

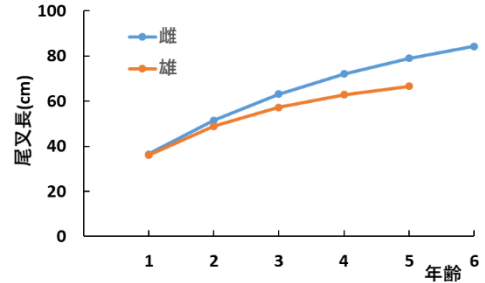


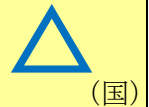
図1 サワラの成長

## 資源水準は低位、動向は減少傾向

(漁獲量) サワラは漁獲の年・月変動の大きい魚種であり、漁獲量は本県沿岸への来遊動向に大きく左右される。過去には70トン近く獲れた年もあったが、近年は10~50トン程度で推移している(図2)。

(水準と動向) 国の資源評価方法に従い、太平洋北部(青森県~茨城県)で漁獲量の多い岩手県と宮城県との1994(H6)~2025(R7)年の合計漁獲量を用いて、平均値よりも30%以上多い場合を高位、30%以上低い場合を低位水準と規定し、2025年の合計漁獲量が136トンで平均値の36%に相当することから、水準は「低位」、直近5カ年の漁獲量の推移より、動向は「減少」と判断している(図3)。

水準



(国)

動向

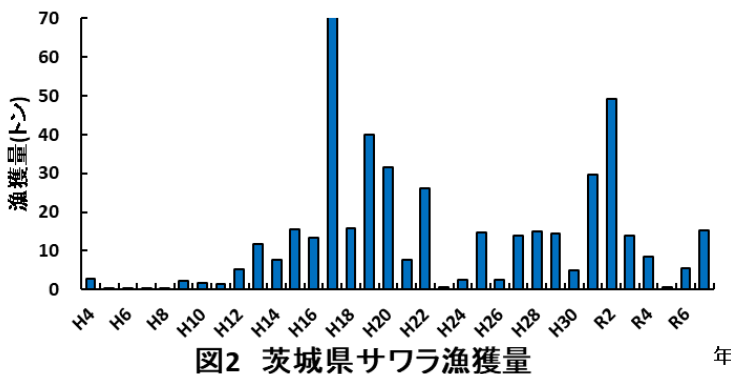


図2 茨城県サワラ漁獲量

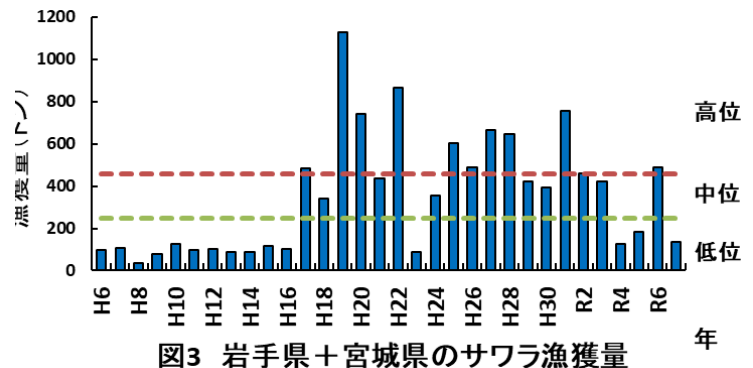


図3 岩手県+宮城県のサワラ漁獲量

## 【全国の漁獲動向】

- ・1位は京都府、2位は福井県、3位は石川県 (R6 漁業・養殖業生産統計)

評価期間:令和7年1月~12月 更新日:令和8年3月19日

引用:岸田達ほか(1985)・濱崎清一(1993)・Shoji.Jほか(1997)・竹森弘征(2006)・井上太郎ほか(2007)・令和6(2024)年度サワラ資源評価調査報告書. 我が国周辺水域の漁業資源評価. 水産庁・水産研究・教育機構, 東京, [https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends\\_2024\\_094.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends_2024_094.pdf).